

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 7 年 12 月 22 日

事業所名： 放課後等デイサービス ないろの空

	チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか	6			基準以上のスペースを確保しており、利用目的によってスペースを分けて使用しています。	
	② 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	6			法令で定められている基準より多い職員を配置しています。	
	③ 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	6			完全バリアフリーではありませんが、手すりや滑り止めを各所に設置する等の工夫をしています。遊びの部屋、活動の部屋、おやつを食べる部屋、靴を置く部屋と、用途に応じて部屋を使い分けています。	段差があることで空間の仕切りになり、スペースを意識することに繋がります。段差を自分で意識して歩くことで、危険認知にも繋がります。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか	6			アットホームな雰囲気作りを心がけています。不要なものは置かないようにし、物の場所を決めて取り出しやすいようにしています。活動は常に同じ場所ではなく、活動内容や状況に合わせて変更することもあります。	
	⑤ 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	6			段ボールハウス（一人になれる空間）を用意しています。また希望に応じて個別の空間を設定したり、パーテーションを使って落ち着ける空間を設定できるようにしています。児童の様子に合わせて、使用することが出来ます。	
業務改善	⑥ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6			毎日のミーティング等で全職員が情報共有し、話し合い振り返りをして取り組んでいます。	
	⑦ 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	6			保護者からのご意見は、すぐに共有し改善に努めています。年に1度アンケートを実施しています。アンケート結果をまとめる会議を全職員で行い、業務改善に努めています。	
	⑧ 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	6			毎日のミーティングで、意見を出し合い共有しています。年に2回、職員面談を行っています。	
	⑨ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		6			現在は行っていません。今後機会があれば検討します。
	⑩ 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか	6			年間計画を立て、月に1～2回の頻度で研修の機会を設けています。所内研修だけでなく、所外研修についても参加したスタッフが研修後に報告することで、内容を共有しています。	
	⑪ 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			職員間で話し合い共有しながら、5領域を網羅した活動を日々計画し、毎月 HP で公表しています。	

適切な支援の提供

⑫	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			日頃からのやり取りを大切にするとともに、月に1度「先生あのね」の活動を実施し、児童と話をする機会を設けています。保護者とは個別懇談、送迎時やSNSのやり取り等で、日々情報共有できるよう努め、個別支援計画に反映しています。	
⑬	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	6			児童発達支援管理責任者を中心に、日々のミーティング、原案検討会議で活発に意見交換をし支援について共有、検討しています。	
⑭	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	6			個別支援計画をもとに支援評価表を作成し、毎日支援評価を記録することで、目標への振り返りと再確認をしています。	
⑮	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	6			フォーマルとインフォーマル、両方のアセスメントを活用しながらよりよい支援に繋がっています。	職員間でアセスメントを共通理解し、勉強会を開いてレベルアップを図る機会を設けていきます。
⑯	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6			放課後等デイサービスガイドラインに則って、児童や保護者の意見も取り入れながら、課題に合わせた支援内容を設定し、放課後等デイサービス計画を作成しています。	
⑰	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			年間を通して繋がっていけるようにチームで相談しながら立案しています。	
⑱	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			年間計画を立て、同じ活動でも個々に内容を変えながら児童が楽しみながら取り組めるよう工夫しています。	
⑲	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか	6			個別活動では児童それぞれの課題、集団活動ではコミュニケーションを取り入れたりしたり、個別と集団を活動内容に合わせて、バランスよく計画しています。	
⑳	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか	6			日々のミーティングで、プログラムの内の確認や支援の振り返り・改善点についてチームで話し合いをし、情報を共有しています。また、支援記録・支援評価表・ヒヤリハット・不適応行動の記録などで支援の検証・改善に繋がるように取り組んでいます。	
㉑	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6				
㉒	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6				

チェック項目		はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	⑳	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			新規利用から3か月後に1回目の更新。その後は必要に応じて(基本は6か月ごとに)モニタリングを行い、計画を更新しています。
	㉑	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5		1	①日常生活の充実と自立支援のための活動、②多様な遊びや体験活動、③地域交流の活動、④子どもが主体的に参画できる活動と、日々の活動やそれ以外の場面でもガイドラインを意識し、支援に繋がっています。
	㉒	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか	6			活動内容の選択、遊びの選択、おやつ選択等日々のあらゆる場面で自己決定の機会を設けています。
関係機関や保護者との連携	㉓	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか	6			児童の状況をよく理解した者が参加しています。また会議の前に職員全体で情報共有をしています。
	㉔	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	4	1	1	個々の必要性に応じて体制を整えています。 連携が難しい関係機関もあり、お互いの速やかな情報共有をするためにどうしたらよいかをチームで話し合っています。
	㉕	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	5	1		ご家族を通しての情報共有・連絡調整が整っています。学校とは日々の迎え時や支援会議で情報共有を行っています。毎日のミーティングでもメールチェックや下校時間変更等の確認をしています。
	㉖	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6			相談員と情報を共有したり、移行会議に参加し、相互理解に努めています。
	㉗	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6			相談員を介して必要な情報は提供しています。利用者のニーズがあれば、移行会議に参加し、情報共有します。
	㉘	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか	6			必要等に応じて助言をいただいたり、研修を受ける機会を設けています。
	㉙	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか		6		現在は行っていないが、活動を通して公園等で地域の児童と交流する機会があります。
	㉚	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6			専門部会のワーキングに参加し、意見交換をしています。
	㉛	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			支援会議や家族支援、日々の送迎時などで様子や目標に向けての支援の共有を行っています。
	㉜	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか		6		現在、ペアレント・トレーニング等は行っていない。事業所で行っている対応の仕方を面談などで提案・説明をしています。今後は保護者等が参加できる研修の機会や情報提供等を行っていく予定です。

保護者への説明責任等

③⑥	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			契約時にご説明し、変更があれば都度書面にてご説明しています。	
③⑦	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか	6			支援会議や家族支援、日々の送迎時などで様子や目標に向けての支援の共有を行っています。また、目標の見直しのタイミングで児童、保護者と意向を確認する機会を設けています。	
③⑧	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			個別支援計画書の更新時には児童、保護者へご説明し、確認していただいています。	
③⑨	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか	6			日々の送迎時のやりとりや家族支援の中では心理士も含めてお話をする機会を設けています。保護者から心配なことやお悩み等をお聞きした際は、チームで共有、話し合いを行い、助言や支援をしています。	
④⑩	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか		6			今のところ父母の会の活動や保護者会等の交流の場は設けておりません。ご希望があった場合、検討します。
④⑪	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			苦情解決の窓口を設置し、迅速かつ丁寧な対応を心がけています。また、玄関に意見箱を設置しています。	
④⑫	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか	6			月に1度ホームページを更新し、月間計画や日々の活動の様子等を発信しています。連絡体制については、翌月の利用予定表配布時に発信しています。	
④⑬	個人情報の取扱いに十分留意しているか	6			利用開始時にご家族に対して個人情報に関する説明と同意を得ています。書類は事務所で管理し、法令を正しく理解し個人情報保護の意識を高めるため、法令遵守研修を年2回実施しています。	
④⑭	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			視覚支援や筆談、SNS、ノート等、個々の特性や状況等に合わせ配慮を行っています。	
④⑮	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	1	5			現在は行っていないですが、買い物体験や地域の行事に参加するなど、地域資源を活用しています。
非常時等の対応	④⑯ 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6			各種マニュアルを策定し、書面で周知、訓練を実施しています。年間計画を立てて計画的に避難訓練を実施、児童も参加した避難訓練については保護者に実施報告をしています。	
	④⑰ 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を実施、都度見直しを行っています。	

④8	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6			利用開始時に確認しています。利用中も特に体のことに関しては、丁寧に情報を共有しています。	
④9	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			現在対象児童はいませんが、必要に応じて対応していきます。	
⑤0	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	6			安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等計画的に実施しています。	
⑤1	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか	6			年に1回、安全計画を書面にて周知しています。	
⑤2	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか	6			その場もしくは、翌日のミーティングで共有し、即改善を図っています。危機管理として全体で意識し、ヒヤリハットを考える会議を月に1度行っています。	
⑤3	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			年間計画を作成し、所内・所外と定期的に研修を実施することで、スタッフ間の意識付けを行っています。	
⑤4	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			現在、対象児童はおりません。今後必要があると判断した場合には、組織的に決定し、児童や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載します。	